

港湾を活用した地域振興に向けて

長崎県五島市

日本初
崎山沖 2 MW 浮体式洋上風力発電所



再生可能エネルギーのしまづくり

海洋再生可能エネルギー実証フィールド海域



R3. 1月に
設置済み

潮流発電技術実用化推進事業（環境省）

奈留瀬戸

田ノ浦瀬戸

奈留島

久賀島

椀島

崎山沖 2 MW浮体式
洋上風力発電所

福江島

促進区域

◆2010～2015年度
国内初の浮体式洋上風力発電の実証事業を五島市の椀島沖にて実施。
実証事業終了後、崎山沖に移設し発電事業を継続

- ・九州電力に売電
- ・発電能力は2メガワット（一般家庭1800世帯分）

再生可能エネルギー関連の地元への効果 (R3.4.1現在)

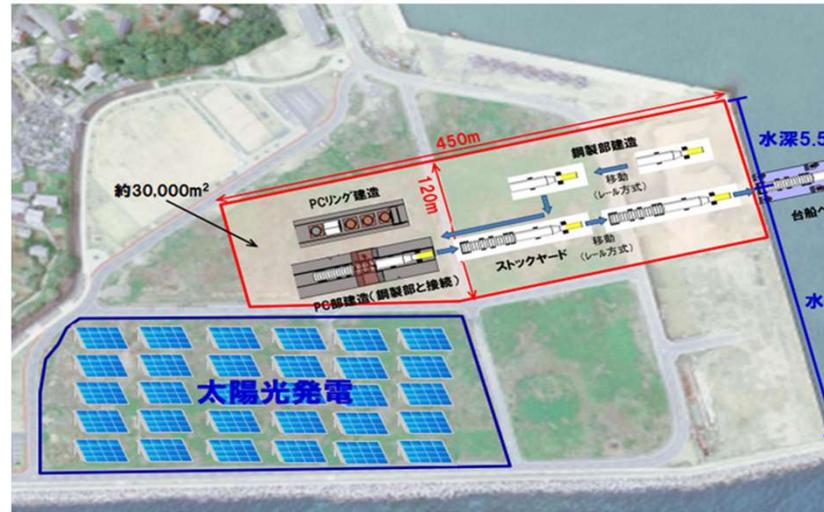
- 関連事業者数 計 9社 94名
- ① 戸田建設(株)福江事務所 (14名)
 - ② 五島フローティングウィンドパワー(合同) (1名)
 - ③ (有) イー・ウィンド (48名)
 - ④ (一社) 海洋エネルギー漁業共生センター五島事務所 (6名)
 - ⑤ 株A・Iホーム (7名)
 - ⑥ 株花村潜建 (2名)
 - ⑦ アシタバ機電 (12名)
 - ⑧ 五島市民電力株 (2名)
 - ⑨ (一社) 離島エネルギー研究所 (2名)



8基程度のウィンドファームは新法における促進区域の指定を受け、事業化を目指す。
市内再エネ自給率（見込み）・・・約80%

港湾を活用した浮体式洋上風力発電の取り組み

平成30年から福江港大津埋立地における使用していない長崎県港湾施設用地（26,441㎡）を浮体式洋上風力発電の建設ヤードとして造成工事を行い、地元企業を中心に整備した。現在、五島産のコンクリートを使用して浮体式洋上風力発電のコンクリート部分を建造し、鋼製部との組み立てを行っている。建造後はフロートレイザーで設置海域まで運搬する。



福江港大津埋立地建設ヤード



半潜水型スパッド台船「フロートレイザー」



浮体式洋上風力発電における 港湾を活用した地域振興！

- ① 地元企業を採用した建設ヤード整備
- ② 五島産のコンクリートを使用
- ③ ヤード施設や関連設備における固定資産税

浮体式洋上風力発電（2MW）

ご清聴ありがとうございました。

高浜海水浴場